

**製品名: CD40 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82558**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	30.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD40
別名	p50; Bp50; CDW40; TNFRSF5
遺伝子 ID	958.0
SwissProt ID	P25942
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD40 (AA: extra(21-193)) の精製組換え断片。

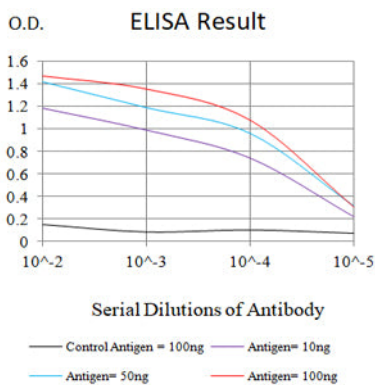
**背景**

この遺伝子は TNF 受容体スーパーファミリーに属する。コードされているタンパク質は免疫系の抗原提示細胞上の受容体であり、T 細胞依存性免疫グロブリンクラススイッチ、メモリー B 細胞の分化、胚中心形成など、多様な免疫応答および炎症応答の媒介に必須

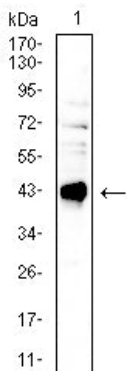
である。AT フック転写因子 AKNA は、この受容体とそのリガンドの発現を協調的に制御することが報告されており、これは同型細胞間相互作用に重要である可能性がある。アダプタータンパク質 TNFR2 はこの受容体と相互作用し、シグナル伝達のメディエーターとして機能する。この受容体とそのリガンドの相互作用は、アミロイド  $\beta$  誘導性ミクログリア活性化に必要であることが判明しており、アルツハイマー病の発症初期段階であると考えられている。この遺伝子に影響を与える変異は、常染色体劣性高 IgM 免疫不全症 3 型 (HIGM3) の原因である。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2014 年 11 月]

## 研究分野

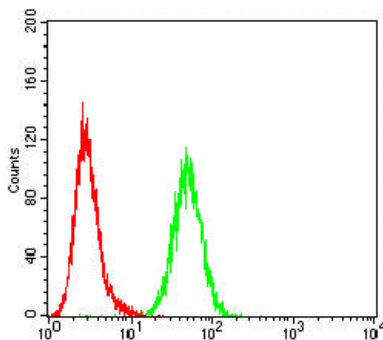
## 画像データ



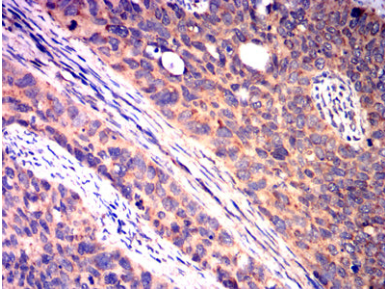
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



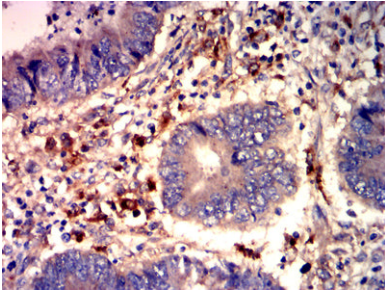
Raji 細胞溶解物に対する CD40 マウス mAb を使用したウエスタン ブロット分析。



CD40 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD40 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD40 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。